

議事概要記録

開催日時	平成 29 年 12 月 9 日 (土) 11 : 30 ~ 13 : 30	開催場所	済生会和歌山病院 7 階 多目的ホール
会議種別	平成 29 年度 第 6 回常務会理事会	議長	神藤 洋次
		書記	神藤 洋次
出席者 <敬称略>	竹中 正人、畑 忠良、大石 博晃、木下 博之、田中 規仁、神藤 洋次		
欠席者 <敬称略>		オブザーバー	
次第			
議事概要	<p>予算書案査定 和臨技永年勤続候補者選出について 平成 30 年度和歌山県医学検査学会について その他</p>		
決議事項 及び 継続事項	<p>次年度の予算案審議について</p> <p>公益事業について、概ね 29 年度を踏襲した計画案であるが、ピンクリボン活動については次年度で終了と報告があった。</p> <p>医療セミナーについて、講演会開催を中心とした計画とし、無料検査は検査展側にて簡易検査を実施することを確認した。また、セミナーと検査展は今後、綿密に調整するようにと指示があった。</p> <p>学術活動について、概ね 29 年度を踏襲した計画案であるの報告があった。</p> <p>今年度より各研究班に勉強会の年間計画をより綿密にするため、1 回の勉強会予算を詳細に記載する方法を行っていくと報告があった。また総合管理研究班より、年間の勉強会において 1 泊での勉強会の企画書が提出されたが、研究班単体での一泊研修会を実施するのは費用対効果の面で不適との意見があり常務理事会で否決と確認した。</p> <p>合同研修会について、29 年度は第 20 回の記念事業となるため、増額したが、次年度は例年通りの予算額ではあるが、計画している参加人数の増減が考えられると報告があった。</p> <p>コミュニケーション事業について、企画会議を行う必要性から係る交通費等も含め、例年通りの予算額ではあるが、計画している参加人数の増減が考えられると報告があった。</p> <p>精度管理事業について、精度管理事業・データ標準化事業システム JAMTQC を含んだ予算など、複数の予算案があったが、今後の和臨技サーベイの在り方も考慮し、今回は JAMTQC を使用しない、例年通りの予算額を提示された予算案で承認され、理事会にて決裁を仰ぐことを確認した。</p> <p>事務局費について概ね承認されたが、メーリングリストをホームページと同じ会社が運営している、有料のメーリングリストに変更すると報告があり承認され、理事会にて決裁を仰ぐことを確認した。</p> <p>災害フォーラムに加え災害時に役に立つ検査の研修会を行う計画であるが、概ね 29 年度を踏襲した計画案であると報告があった。</p> <p>以上上記の各予算案を承認し、理事会にて決裁を仰ぐことを確認した。</p>		

	<p>和臨技永年勤続候補者について</p> <p>和臨技規定、表彰を受ける年の4月1日をもって満50歳以上、かつ、通算25年以上に基づき、表彰者が第4回理事会で決定した者以外にいないか、再確認することとした。</p> <p>平成30年度和歌山県医学検査学会について</p> <p>和歌山市内地区で開催すること、学会長は大石副会長で開催する案の申し出があり、理事会にて決裁を仰ぐことを確認した。</p> <p>和臨技表彰について</p> <p>小島三郎記念技術賞推薦について、当会からは該当者なしと報告することを確認した。</p>				
記録作成	平成29年12月9日	氏名	神藤 洋次	提出	平成29年12月13日

※ 諮問委員会で「報告書」が提出される場合、「委員会議事録」が別途作成添付される場合は添付資料で可